



白陵会事務局 〒676-0827 高砂市阿弥陀町阿弥陀2260(白陵高等学校内) TEL.079(447)1675(代) FAX.079(447)1677 URL:http://www.hakuryokai.jp E-mail:info@hakuryokai.jp



天空の白鷺



会長 沼田好道

会員各位におかれましては、いよいよご健勝にてご活躍のこととお喜び申しあげます。平素は同窓会活動に格別のお力添えを賜り厚く御礼申しあげます。さて、我が国初の世界文化遺産に登録された国宝「姫路城」、別名「白鷺城」、一度は訪れたことがありかと思いません。校歌『白陵の歌』の二番に「いまいま見はるかす播磨野に、要をしめす白鷺城、白陵その名、白陵われら」と云う歌詞がありますが、ご承知の通り、これは、本校の校名がその光輝ある校章を受け継いだ、旧制姫路高等学校の寄宿舎「白陵寮」に由来しているからに他なりません。また、県下唯一の官立高校として城下町姫路に設立された姫高では、姫高健児が、日夜天下の名城を仰ぎ見て、『白陵歌』では「潔きをさとす白鷺城」、『序歌』では「消えぬ理想の影宿し立てり我等が白鷺城」、『応援歌』では「仰ぐも高き白鷺城」と城を愛でた寮歌を高歌放吟しておりました。姫路城では、現在、五十年に一度の大修理が行われておりますが、高さ四

十六メートルの大天守を包み込む素屋根工事は丸太造りから軽量鉄骨造りに変わり、巨大なクレーンを駆使した現代の工法技術は五十年前とは隔世の感があります。素屋根の内部を専用エレベータで最上階まで上がると、播州平野や播磨灘の眺望を楽しみながら、瓦の葺き替えや白漆喰総塗籠の職人技を間近で見学することができます。これが、今、人気を呼んでいる姫路城大天守修理見学施設「天空の白鷺」です。「天空の白鷺」は平成二十六年一月十五日で閉館となり、平成二十七年春には化粧直しを終えた美しい大天守が姿を現します。また、平成二十六年のNHK大河ドラマは、秀吉の天下取りの軍師、姫路出身の黒田官兵衛を描いた『軍師官兵衛』に決定し、地元への経済、観光効果が期待されております。このようにして、全国の注目を集めている姫路市ですが、姫路市役所には十三期生の飯島義雄副市長をはじめ、多くの卒業生が幹部職員や市議に名を連ね、播州の中核都市姫路の発展に尽くされるところに、姫路市役所白陵会を結成して親睦を深めておられることにご同慶の至ります。姫路城に再び大修理の時期が巡ってくる五十年後、母校は創立百周年を迎えます。全国に冠たる名門私学に発展した母校が教育の殿堂として益々発展し、播州の地から巣立った同窓生諸氏が、「天空の白鷺」の如く大きく羽ばたいていかれることを願ってやみません。

卒業生の皆さん お元気でしょうか？



理事長 三木一正

今年の、創立五十周年記念式典は、皆さん方のご協力のお陰で無事恙なく盛大に行うことができました。平成10年度から中学も男女共学に移行していましたが、昨年度からは、1学級増となった中学校を含め、平成26年度からは中学各学年5クラス、高校5クラスの文字通り中高一貫の新しい学年編成の第一歩を踏みだします。一方、生徒たちの活躍に目をむけると、化学グランプリに応募した本学園白陵高校2年の生徒2名が日本代表4名の中に選ばれ、この7月ロシアのモスクワで開かれた世界大会に参加。両名とも銀賞を受賞し、元気に帰ってきました。このことは、本人たちはもとより、まさに学校を挙げて喝采しているといいたところでは、生徒たちのクラブ活動は、どうなっているのかとよく聞かれますが、化学部や柔道部はそれなりの活躍をしているのですが、世間を注目させる野球となると、残念ながら現在の回答ができません。現在の育友会の野添会長は本校の元野球部員で、対外試合でホームラン

を打つ等活躍していた選手でしたが、現状をみて、渋い顔というのが本当のところでしょう。しかし、静かに活躍している卒業生もいます。先日来の新聞記事で注目されている京都大学野球部3年生で本校46期生の田中英祐君です。昨春、平成21年から続いていた京大のリーグ連敗ワースト記録を60でとめるなど、プロのスカウトも「頭がいい子は野球もよく知っていますよ」と興味津々の様子。今後ますますの活躍を期待しています。以上、白陵のクラブ活動について最近の白陵情報を書きましたが、何といたって本校の実力をもたらし続けてくれているのは卒業生の大学進学にわたる情報です。週刊誌等により、本校春の大学進学成績は「大学合格力」と「医学部合格力」において白陵が昨年の全国ランキング第21位から大きく全国第5位に躍進しているというではありませんか。このことは、生徒個人が白陵の教育方針をよく理解すると共に子どもたちの家庭のご協力によるものであります。最後にになりましたが、白陵卒業生の明るいニュースをお知らせしておきましょう。先の7月に行われた兵庫県上郡町の町長選挙に1期生で、初代同窓会長遠山寛氏が立候補、当選されたことです。このように、卒業生が政財界において活躍するようになってきたことは、誠にうれしく限りです。今後とも、益々のご健闘を祈り、ご挨拶いたします。

日々 白陵は新しく



校長 斎藤興哉

創立五十周年記念行事を実施した昨年度に比べて、今年はいささか余裕のある感じで学校生活が推移しています。新たに七十周年、百周年を目指してスタートをきった本校ですが、その前途を祝福するようなニュースが今、話題になっていいます。その一つは、『週刊ダイヤモンド』（6月1日号）による全国高校「大学合格力」ランキングで、本校が5位にランクされたことです。この三月に卒業した学年は少し心配される面もあった学年でしたが、この結果は本当に喜ばしい限りです。次に、国際化学オリンピック・ロシア大会に出場した高校二年生の男子二人が、それぞれ銀メダルを獲得しました。日本代表の他の三年生に伍して、まさに快挙と言っているでしょう。こういうこともあってか、本校を志望したいという子どもが多くなっている聞き、ますますそれに応える教育態勢をつくりあげなければと思っております。おそらくこういう有り様は、同窓会にもそのまま反映しているのではないのでしょうか。東京

白陵会、県庁白陵会等を始めとする各種の会に参加して、川副教頭はよく、「すごい盛り上がりようだ」と言っています。それは、その集まりが単なる昔話をするだけで終わらず、お互いに新しい発見があるからではないかというのが私の想像です。私事ですが、この七月、数年ぶりに会った高校の同級生は前と違った側面を見せて私を驚かせました。その友だちと歩き回った鎌倉は、前に見た時とはかなり変わった顔つきで、「どうだ」という感じで私を迎えてくれました。言うまでもなく、人も街も日々変わってゆき、新しい年齢、状況を生きているのであり、そこに発見や驚きを感じ、また揺れる様を見るのは、当然と言えば当然のことです。その意味で、同窓会員の皆様には、今も若い白陵を生きていくという思いをどこかに持ち続けてほしいですし、同時に、揺れながらも後に続くとうとする後輩たちの姿に目を注いでほしいと願っています。



白陵軍団全員集合(18)

～ 19期生 第1回同窓会 ～



卒業して三十年目にして初めての学年全体の同窓会。言い出しっぺ不在とコミュニケーション不足のため実現まで長い年数かかりましたが、三十年のプランクを乗り越え再び皆が一つになり、久しぶりのチーム再結成でいい仕事ができたと感じます。

一昨年からFacebookで同期がなくなり、コミュニケーションが一気に増えていました。現在十九期グループへの登録は四十四名。最近、神戸や東京で非公式で小規模な「同窓会」が毎月のように開催されるようになっていきます。発起人が日時と店を決めてFacebookに書き込むと数人が集まる。参加者は当日の様子をスマートフォンで写真を撮りすぐにアップする。参加できなかった人もそこへコメントを入れて絡んでくる。そうやって同期内での楽しいコミュニケーションが一気に広がりました。

中学高校時代は、決して楽しい思い出ばかりではありません。いろいろなと苦い経験をした者も多く、中には卒業後は白陵に一切関わりを持ちたくないと思っていた同級生もいたようです。しかしそういう人も、重い足を上げて一度参加し懐かしい顔を

目を見ると、そんな気持ちも忘れて愉しんでくれました。そして、忘れかけていた数々の忌まわしい事件やエピソードが皆の記憶の中に蘇りました。今となっては笑いの種、いい思い出と言っしかありません。

多忙な中、幹事の一人が動画を作成してその場で披露してくれました。卒業アルバムや最近撮影された写真を使い音楽を乗せたその動画は、三十年前と現在を対比させ、我々が歩んできた道を振り返るストーリーで、最高の出来栄でした。翌日YouTubeでアップされましたが、一週間で再生回数三〇〇を超えており、終わった後も何度も見直して愉しんでいるようです。

同窓会であればどなたも同じでしょうが、数十年前の高校生に戻り、現在の地位や立場を忘れて語り合いました。それぞれ見た目や体型が大きく変わった者も多いですが、皆本当にいい顔をしていました。昼過ぎから終電間際まで延々と飲んで語り明かし、あつという間に時間も過ぎました。すごく楽しかったよ！またやろう！そんな言葉を残して解散しました。

Facebookでのつながりが、一気に全体をまとめてくれました！(^_^)v

卒業生インタビュー



田中英祐さん (46期生)

京都大学工学部工業化学科3回生

田中さんは現在京都大学工学部工業化学科三回生で野球部に所属されています。そして野球部では投手として、その持ち前の速球と高速スライダーを武器に、昨年春季リーグでは関西学院大学を完封し、大学の六十連敗を阻止、今年の春季リーグでも立命館大学、近畿大学から一勝ずつを挙げられました。プロのスカウトが試合を見に来たり、テレビでも特集されるほど今注目を浴びています。

今回、その田中さんに母校にお越しただき取材をさせていただきました。

■高校野球と大学野球の違いは？
同じリーグに所属する大学の選手は、甲子園出場経験者が多く、レベルの高さに驚かされました。

■今のような活躍ができている要因は？
基礎体力が向上しただけでなく、自分自身を客観的に見る目、相手打者を冷静に見る目が養われたことが大きいと思います。

そのきっかけとしては、昨年、大学がまだ連敗中だった時に、関西大学との試合で、最終回二点リードで迎え、この回を迎えれば勝利する場面が登板しましたが、打たれて二点取られて引き分けてしまいました。先輩の勝ち星を消してしまい、本当に落ち込みました。そして、一から



自分の練習姿勢を見直し、打者をよく観察し考えながら投球するようになったのが大きな変化でした。

■中学・高校時代の思い出
白陵中学に入学し、一年生で投げた最初の公式戦でめった打ちされ、コールド負けしたことが投手人生の始まりでした。野球以外では中二のキャンプで初日に四十度の熱を出し、三日間寝込んでしまったこと。高二の文化祭で山口先生の指導のもと、ミュージカル「ウエストサイドストーリー」を上演したことが印象に残っています。そして高校野球部では、高二の時に夏の大会の初戦で東灘高校に勝って、二回戦前年度甲子園出場校加古川北高校との対戦で、先輩の垣淵さんがホームランを打ち、八回までリードしながら最後に打たれて負けてしまったこと。高三最後

の夏は初戦で古豪明石高校と対戦し、七対五で惜敗した試合に、同級生がテスト期間中にも関わらずたくさん応援に駆けつけてくれたことが心に残っています。

■将来の進路は？
具体的どういった道に進むかはまだ決めていません。将来野球を続けるかも含めてですが、その前に今の自分があるのは、両親をはじめお世話になった先生方や多くの方々のお陰で、本当に感謝しています。最終的な進路に対して、自分自身がしっかり誇りを持って結論を出したいと思います。

■後輩たちへのメッセージ
日々勉強等で大変だと思いますが、クラブ活動は是非最後まで頑張ってくださいと思います。他校では途中で引退して受験勉強に突入する生徒が多いと聞いています。クラブ活動で得られるものがたくさんあり、それが人生の財産になっていきます。不安になることもありますが、しっかりと切り替えて頑張ってください。応援します。



大学入試試験合格者数

国公立大学					
大学名	25年	24年	23年	22年	21年
東京大学	18	25	24	21	19
京都大学	21	14	24	18	17
大阪大学	20	15	20	24	29
神戸大学	19	14	9	19	24
岡山大学	6	10	6	6	5
東京工業大学	1	1	1	1	
一橋大学	1	5	3	4	
その他	83	67	100	77	91
合格者計	169	151	187	170	185
内医学部医学科計	37	43	52	37	34

※ 国公立大学集計に準大学を含む

私立大学					
大学名	25年	24年	23年	22年	21年
早稲田大学	26	27	17	24	20
慶應義塾大学	15	17	21	30	24
同志社大学	50	27	31	27	19
立命館大学	16	31	17	22	24
関西大学	23	8	2	10	5
関西学院大学	20	24	12	18	16
兵庫医科大学	6	13	10	7	8
その他	71	78	80	89	103
合格者計	227	225	190	227	219
内医学部医学科計	21	30	23	20	38

白陵会役員名簿

役名	期	氏名	役名	期	氏名	役名	期	氏名	役名	期	氏名
会長	3	沼田 好道	常任幹事(総務)	10	加藤 雅宣	常任幹事(総務)	32	小澤有紀子	常任幹事(総務)	46	藤本 美希
副会長	2	湖中 明憲	"(研レ)	12	吉野 太司	"(総務)	33	藤井 拓郎	"(総務)	46	宮脇 規壽
"	3	天野 泰文	"(広報)	13	矢野 善人	"(総務)	33	北尾由美子	"(総務)	47	戎 直哉
"	6	上田 喜裕	"(総務)	14	片山 安孝	"(総務)	34	八尾 晋典	"(総務)	47	中谷 英巴
理事(研レ)	3	神吉 裕資	"(総務)	14	竹中 邦夫	"(総務)	34	牧野 琢丸	"(総務)	48	井上 千華
"(総務)	4	岸本 和男	"(総務)	16	田中 正一	"(総務)	35	石川 美帆	"(総務)	48	建石 真一
"(研レ)	5	橋本 義仁	"(総務)	18	秋田 直樹	"(総務)	35	阪本 覚	校内幹事(広報)	1	芳木 健憲
"(研レ)	6	大崎 章快	"(総務)	19	牛尾 英樹	"(研レ)	35	中村 亮太	"(総務)	2	大内 義博
"(研レ委員長)	9	村角 伸一	"(総務)	21	河合 恵介	"(研レ)	36	近藤 理恵	"(総務)	3	長濱 憲雄
"(総務)	10	吉田 達哉	"(総務)	22	新田 智弘	"(HP)	36	杉岡 央基	"(総務)	3	黒田 洋
"(広報)	10	下村 康夫	"(研レ)	22	野津 康弘	"(総務)	37	伊賀真紀子	"(総務)	6	福井 孝昌
"(広報副委員長)	11	志方 正彦	"(研レ)	23	中里 寛	"(HP)	37	亀山 信生	"(総務)	11	小紫 一貴
"(校内幹事総)	11	宮崎陽太郎	"(総務)	24	奥本 光廣	"(総務)	38	上野 紘之	"(総務)	12	畔上 昇
"(総務)	13	飯島 義雄	"(総務)	24	藤原 省悟	"(総務)	38	堀 素史	"(総務)	12	山口 透
"(研レ副委員長)	15	町田 直隆	"(総務)	25	多根 正明	"(総務)	39	猪股久美子	"(総務)	12	中村 大吾
"(会計・HP委員長)	19	尾上 尚樹	"(HP)	26	大西 康記	"(総務)	39	根木 厚	"(総務)	13	水田 堅
"(総務)	20	石井 秀武	"(総務)	27	山田 将義	"(総務)	40	赤澤 剛	"(総務)	14	久保 博彦
書記(広報委員長)	17	岡野 清和	"(総務)	28	柿本 晴彦	"(総務)	40	山本 祥子	"(総務)	15	村上 幸生
会計監査(広報)	23	三木 健史	"(総務)	28	松本 守弘	"(総務)	41	山本 梨加	"(広報)	15	西 善弘
"(研レ)	35	安田 孝弘	"(HP)	29	岡田 康裕	"(総務)	41	脇田 直人	"(総務)	37	神尾 祐輔
常任幹事(総務)	1	芝本真須美	"(研レ副委員長)	29	浜田賢太郎	"(総務)	42	賀川 拓哉	顧問(理事長)		三木 一正
"(総務)	1	正井 和野	"(総務)	29	山下 展成	"(HP)	42	宮崎はる香	"(校長)		斎藤 興哉
"(研レ)	4	森崎 晴知	"(総務)	30	上新 貴弘	"(総務)	43	片岡 寿平	"(教頭)	2	川副 義文
"(総務)	5	塩崎 育男	"(研レ)	31	後藤 大悟	"(総務)	43	野瀬 彩弥	"(元会長)	1	遠山 寛
"(総務)	7	萩本 義郎	"(総務)	31	酒井 雅史	"(総務)	44	立田 裕昌	"(元会長)	1	黒坂 康夫
"(総務)	8	前川 裕司	"(総務)	31	木下 智晴	"(総務)	44	三木 綾子	"(前会長)	1	黒川 芳一
"(総務)	8	黒川 仁	"(総務)	31	村山 稔	"(総務)	45	三浦 学登			
"(総務)	9	鄭 幸男	"(総務)	32	酒井 勇人	"(総務)	45	向原 沙紀			

(平成25年6月22日現在)

在校生

活動報告

第四十五回 国際化学
オリンピック銀賞受賞
高二(正田浩一郎君・福永隼也君)



正田君 福永君

七月十五日(二十四日)にロシアのモスクワで開催された第四十五回国際化学オリンピックに、四名の日本代表メンバーとして高二的正田浩一郎君・福永隼也君が出場し、銀メダルを獲得しました。卒業生が第三十六、四十一回大会に高三で出場し、銅メダルを受賞しましたが、今大会で本校から高二生が二名選ばれ、銀メダルを取ったことはまさに快挙であります。今回正田君・福永君に大会期間中の様子を大内義博先生(二期生・中学部長)

にインタビューしていただきました。

今大会の会場になったのが、モスクワ大学で、七十三カ国から二九一名の高校生が参加しました。試験は実験と理論で各五時間。それぞれ休憩時間はなく、特に実験で不慣れな器具が多かったために苦労したようです。

試験の難易度は難しく、ロシア大会は難しいことで有名なようです。手ごたえとしてできたという感覚はなかったようですが、結果として銀メダルを獲得できたことは大変素晴らしいことと言えます。

メダル獲得の感想として、自分の力不足を感じることもあり、メダルを取れるかと不安になることもあったようですが、今回の結果で自分の実力を具体的に知ることができ、来年はさらに上を目指したいと意気込みを語ってくれました。

大会期間中、各国の高校生と交流を深める機会もあり、会話で特に困ったこともなく、積極的に話しかけることができた



うです。交流する中で、日本のことが世界に知られていて、アニメやJ・POPの話は日本人よりも詳しい人がいた、とのこと

大会を振り返って、化学の勉強について改めて考え直す機会になり、オリンピックに向けての勉強は良い刺激になったようです。日本と同じアジア圏でもかなりいい成績を取っていた国もあり、今後も勉強を続けていくモチベーションになり、また、これだけ多くの国の高校生と話をする機会はなかなかなく、貴重な経験になったようです。是非来年も出場出来るように頑張りたいと力強く語ってくれました。

書道パフォーマンス甲子園

七月二十七、二十八日に愛媛県四国中央市で開催された書道パフォーマンス甲子園に出場しました。全国から予選を通過した二十チームが流行歌やBGMに合わせて六分間という限られた時間で四m×六mの紙に作品を書き上げました。

この大会の始まりは、不況の影響で活気を失いつつあった町を盛り上げるため、三島高校の書道部員が平成十三年頃から、高校の文化祭や地元のイベントなどで、音楽に合わせて大きな紙に歌詞を揮毫する「書道パフォーマンス」を始めたことがきっかけで、平成十九年からショッピングモールで披露するようになり、それに注目した行政や地元祭りの「紙まつり実行委員会」が、同イベントで披露することを同部に依頼。平成二十年夏、第一回書道パフォーマンス甲子園大会が四国中央紙まつりのイベントとして開催され、現代に至っています。

書道部の今後の活躍を期待します。



平成24年度 収支決算報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

単位/円

収入の部	予算額	決算額	差異
前年度繰越金	14,550,099	14,550,099	0
会費収入	2,475,000	2,565,000	△90,000
終身会費	2,475,000	2,565,000	△90,000
臨時会費	0	0	0
総会費	0	0	0
会費外収入	115,000	3,462,153	△3,347,153
名簿収入	10,000	3,800	6,200
広告収入	0	0	0
利息収入	5,000	3,353	1,647
雑収入	0	0	0
寄付金	100,000	3,455,000	△3,355,000
総会積立金繰入収入	0	0	0
合計	17,140,099	20,577,252	△3,437,153

平成24年度 会務報告

年月日	内容	年月日	内容
24.6.6	理事会	24.11.24	役員忘年会
24.6.23	定例役員会	25.1.1	会報第32号発行
24.7.7	東京白陵高校同窓会	25.2.2	三会合同正副会長会
24.7.18	理事会	25.2.10	第48期生卒業式
24.10.23	理事会	25.3.26	理事会
24.11.9	学園創立50周年記念式典		

支出の部	予算額	決算額	差異
事務費支出	125,000	781,132	△656,132
消耗品費	20,000	0	20,000
印刷費	20,000	288,642	△268,642
通信費	50,000	461,340	△411,340
支払手数料	30,000	31,150	△1,150
雑費	5,000	0	5,000
会議費支出	550,000	318,653	231,347
理事会費	200,000	270,794	△70,794
役員会費	300,000	47,859	252,141
委員会費	50,000	0	50,000
事業費支出	1,455,000	1,644,806	△189,806
総会費	0	0	0
名簿発行費	0	0	0
会報発行費	850,000	850,000	0
ホームページ維持費	105,000	105,000	0
卒業記念品費	350,000	290,640	59,360
慶弔費	150,000	399,166	△249,166
備品費支出	0	0	0
OB会活動助成金	180,000	180,000	0
渉外費支出	100,000	60,000	40,000
予備費支出	500,000	373,733	126,267
寄付金	0	5,000,000	△5,000,000
小計	2,910,000	8,358,324	△5,448,324
総会積立金	200,000	200,000	0
次年度繰越金	14,030,099	12,018,928	2,011,171
合計	17,140,099	20,577,252	△3,437,153

※予備費支出373,733円を会報発行費に充当した。

白陵会名簿について

● 前回の会報でお知らせしましたが、平成二十六年十二月に白陵会名簿を発行することになりました。前回同様に行うことになりました。白陵会名簿は、社務データ整備専門会社である株式会社サラトに編集から発行までを委託して発行いたします。発行にあたり、皆様には来年の三月にサラトより調査ハガキを送らせていただきます。今回からハガキの記載内容を確認し、訂正後、白陵会事務局にご返送いただくこととなります。また、この時期に名簿予約、広告名簿作成賛助金の受付も実施しますので、是非ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

● さて、卒業生で住所不明の方が年々増加し、少しでもその数を減らすことを検討しました結果、調査ハガキを送る前に、今回の会報に各期の住所不明者一覧を同封させていただきました。情報提供をお願いさせていただきますことになりました。この一覧をご覧いただき、住所等をご存知の方について、同封のハガキで白陵会事務局までご返送下さい。ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

編集後記

7月に広報委員長に任命され、最初の仕事がこの会誌の編集でした。今まで広報の仕事には全く無関係でしたが、事務の勝山さんの献身的な協力を得てなんとか発行にこぎつけることができました。今年で学校に勤めて28年目となりますが、年が経つにつれて他人の助けのありがたさを感じるようになりました。毎日が「ありがたう」の連続です。

RC

● 今 智也先生 (社会)
平成十六年四月～平成二十五年三月
九年間

● 平山幸一先生 (体育)
平成二十四年四月～平成二十五年三月
一年間

転退職教員紹介

● 吉田敏行先生 (理科)
(昭和六十二年四月～昭和六十三年)
平成二十五年二月 逝去

● 片岡弦也氏 (四十二期生)
平成二十四年十二月 逝去

● 加古修一氏 (一期生)
平成二十五年二月 逝去

● 浅井光正氏 (二十期生)
平成二十五年四月 逝去

● 臼井康隆氏 (四十期生)
平成二十五年六月 逝去

白陵会物故者

心よりご冥福をお祈りします。

生徒からの贈り物



小谷 満
(中一学年副主任)

二十九期生の卒業式の後、私は担任をしていた高三の二組の教室で最後のホームルームをした。いろいろ話をした後「これで終わります」と私が言うと、幹事の川田君が「ちよっと待って下さい」と言った。そして私の所に歩み寄り、「クラスの皆様からです」と言ってケースに入ったサインペンを手渡した。予期していなかったため、思わず目頭が熱くなり、言葉が出なかった。今でも鮮明に覚えている場面だ。また、結婚祝いとして二十二期生の中三の三組の生徒からももらった、ペアのコーヒーカーップもいまだに壊れずに使わせてもらっている。その他にもたくさんのお贈り物を生徒から頂いた。授業中の質問は形に残らないが、私にとって最高の贈り物だ。

それに対して私は何を生徒に贈れただろうか。今、担当している五十四期生は私が教える最後の学年になるだろうから、悔いのないように私の持っているすべてを伝えたいと思っている。



白陵会News

● 兵庫県功労者表彰
大内義博先生 (教育功労)
石井秀武氏 (県政功労) 受賞

今年の五月に兵庫県が県の功労者として表彰する二六二名を発表し、その中で大内義博先生 (二期生・中学部長) が教育功労賞、兵庫県議会議員の石井秀武氏 (二十期生) が県政功労賞を受賞。五月二十一日に県公館において表彰式が行われました。

大内先生は昭和四十六年に社会科の先生として母校に着任。平成十六年度から現職に就任。特に中学部に社会の授業で論文作成、NIE学習など、幅広い視野を育む教育を先頭に立つて実践され、中学校教育の充実と改革にご尽力されました。また、中学部の会報「若竹」を定期的に発行され、学校と生徒の様子などをお知らせになっています。中学生にとって「若竹」の発行が待ち遠しく、発行部数も五十号を超えています。

石井秀武氏は、平成十五年に県議会議員に初当選し、長年兵庫県が課題としている財政再建、県政改革の実現に向けてご尽力され、県に貢献されたことが評価されたことと思います。

今後もお二人の益々のご活躍を祈念します。

● 熊谷俊人氏千葉市長選挙再選
今年五月二十六日に千葉市長選挙が実施され、熊谷俊人氏 (三十一期生) が他の候補者に圧倒的大差をつけて再選しました。政令指定都市最年少の市長として、財政状況の再建に取り組んだ実績が今回の結果につながったものと思います。今後とも更なるご活躍を期待します。

● 遠山寛氏上郡町長選挙当選
七月二十一日に実施されました上郡町長選挙において、遠山寛氏 (一期生) が三つ巴の激戦を制して初当選されました。翌日、役場において当選証書が手渡され、選挙管理委員長より「若者が夢と希望の持てる町になるよう率先してかじ取りをお願いしたい」という言葉に対し、「町民の期待を裏切らないようにしたい」と心境を語られました。また、勝因について「町を変えたい

第20回 りょうゆう会ゴルフコンペのご案内

恒例の「りょうゆう会ゴルフコンペ」のご案内をさせていただきます。今回は20回記念大会ですので、同期生等お誘い合わせ頂き、多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成25年11月3日 (日・祝)

場所：福崎東洋ゴルフ倶楽部

申込み：昭和住宅 (株) りょうゆう会係
FAX.079-425-7555

これまでの参加者には、後日ご案内を郵送させていただきます。また、白陵会ホームページにも詳細を掲載しております。

● 出版紹介
徳永光展氏 (二十一期生)
福岡工業大学社会環境学部准教授、文学博士「城山三郎『素直な戦士たち』」論二〇一二年四月 双文社出版

● 家庭関係や個性を見据えて計画された教育を受けた結果として生み出されるエリートがどれほどの有効性を持ち得るのかという観点に立つて作品を分析するとともに、全十二章を要約。

● 皆さんの思いが強く、何のしがらみもない私を選んだ」と分析され、「議会、職員と一緒に町民の信頼を取り戻したい」と抱負を述べられました。今後のますますのご活躍を期待します。